

■第4回HUL(HISTORIC URBAN LANDSCAPE・歴史的都市環境・景観)連続シンポジウム  
～奈良市の取り組みから、歴史的都市環境のいまを考える～

日時:2021年9月26日(日)14:00～16:00

会場:ZOOMによるオンライン

参加費:無料(※参加を申し込まれた方には当日までに配信 URL をお知らせします。)

主催:NPO法人全国町並み保存連盟

問合せ・申込み:NPO法人全国町並み保存連盟(第1回・2回と申込み先が違います)

E-mail: [matinami@pop02.odn.ne.jp](mailto:matinami@pop02.odn.ne.jp)(●を@に変えてください)

氏名、所属、役職、メールアドレス、電話番号を明記の上、上記アドレスまでE-mailにてお申込みください。

電話:03-6240-0321(不在の場合は留守電にメッセージを残してください。折り返します)

締切:2021年9月22日(水)17:00

.....

【プログラム】

▼問題提起とこれまでの報告

中村泰典(NPO法人倉敷町家トラスト代表理事)

▼奈良から報告

田中梨絵(奈良市奈良町にぎわい課)

▼質疑応答

福川裕一(千葉大学名誉教授・NPO法人全国町並み保存連盟代表理事)

▼進行

成清仁士(ノートルダム清心女子大学人間生活学部人間生活学科准教授)

この連続講座は、2021年1月に第42回全国町並みゼミ川越大会のプレイベントとして開催したトークセッション「谷中をとおして最先端の歴史まちづくりを考える」から始まった。私たちは、歴史的環境を守る多様な制度が整備されてきたにもかかわらず、失われていくものをどうやって救うかという課題に直面したからで、引き続きオンラインで連続講座で学んでいる。第1回は、HUL勧告に至る歴史的経緯と世界の状況、HULの概要などを福川裕一氏の基調講演から学んだ。第2回は、全国町並み保存連盟に加盟している福岡県八女市、埼玉県川越市、岡山県倉敷市を事例にあげ、歴史的都市環境(HUL)の中での重伝建地区制度について問題意識や課題を共有した。第3回は、日本で最も総合的な歴史的都市環境(HUL)の制度を持ち、2017年には全国に先駆けて「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」を成立させた京都市の制度や課題を学んだ。(以上、全国町並み保存連盟HPブログで関連記事を更新中)

今回は、11月12日～13日に全国町並みゼミを開催する奈良市の歴史的環境保全のしくみと運用を学び、事前学習として情報を共有したい。奈良町を対象として「歴史まちづくり法」を運用し、市民とともに取り組む現在の状況と課題について報告いただく。

【報告者】

\*田中梨絵(たなかりえ)

福岡県生まれ。京都女子大学卒業。筑波大学大学院修了。学部の際に建築史、歴史的建造物に興味をもち、進学後、文化財建造物を守り伝えるステークホルダーに関心をもつ。文化財保護行政のなかでも人と関わりの深い市町村職員を目指し、奈良市に文化財建築職として入庁。文化財課で指定文化財の修理、調査などの業務に携わる。東大寺や春日大社などの8社寺と奈良町を舞台にした「東アジア文化都市2016奈良市」の美術部門を担当し、2015年からならまちに関わり始める。2017年から奈良町にぎわい課で奈良市歴史的風致維持向上計画、歴史的風致形成建造物の修理事業、都市景観形成地区での修景事業などの業務を担当。ライフワークとして、ならまちのまちづくり団体に所属し、神社の秋祭りで奉仕活動を行う。

【進行】

\*成清仁士(なりきよひとし)

岡山生まれ。博士(工学)。専門分野は建築史・意匠学、都市史、まちづくり。倉敷で2010年よりkurashikimapsプロジェクトを展開、『倉敷おさんぽマップ』等を作成。